



教委だより

No.421

平成30年9月28日

編集発行 富山県教育委員会

発行人 教育企画課長

特集 Stop! ザ・ネットトラブル (p2)



小学校部門 富山会場の様子



中学校部門 砺波会場の様子



高校物理 競技の様子(小球を多く載せてゆっくり落ちる落下物の製作)



高校生物 葉の断面切片を観察している様子



高校化学 プラスチック素材の特定実験の様子

むずかしいところがおもしろい とやま科学オリンピック2018 県内5会場で開催!

今年8回目となったとやま科学オリンピックの小・中学校部門は、8月4日(土)に魚津高校、富山中部高校、高岡高校、砺波高校で、また高校部門(数学、物理、化学、生物)は、9日(木)に、富山大学で開催されました。

今年は、1,190名の児童生徒(小学校部門327名、中学校部門523名、高校部門340名)が参加し、富山県が全国で上位や下位になる統計データに関連した問題に挑戦しました。また、高校部門では、石井知事が視察され、参加生徒達に激励の言葉をかけていただきました。

「去年も参加しましたが、一段と楽しくなっている感じがあったのでよかった。」(小学生)「他県のことをいいなと思っていたけど、富山の魅力を感じ、もう少し富山の現状・過去・未来について考えてみるのもいいなと思った。」(中学生)「150分がとても短く感じた。問題は難しかったが、友達と協力しながら楽しむことができよかった。」(高校生)などの感想がありました。

今後12月中旬に開催予定の富山県教育フォーラムにおいて、知事、教育長、教育次長より、成績上位者に対し、金賞・銀賞・銅賞及び特別賞を授与していただく予定です。

Contents (主な内容)

- 特集 Stop! ザ・ネットトラブル ……2p
- 平成30年度「高校生とやま県議会」開会 ……3p
- 第1回とやま親学び推進協議会を開催 ……3p
- とやま親学び「推進リーダー等研修会」及び「親学びスーパーリーダー等研修会」を開催 ……3p
- 全国高校総体 ……4p
- 平成30年度全国中学校体育大会 ……4p
- 第25回環日本海インターハイ親善交流大会 ……4p
- 第75回国民体育大会冬季大会
スキー競技会富山県実行委員会設立総会 ……5p
- 第35回「とやま賞」贈呈式 ……5p
- 平成30年度永年勤続教職員等表彰式 ……5p
- みんなで食育の推進を ……6p
- 平成30年度全国学力・学習状況調査結果より ……6p
- 中学校・高等学校卒業者の進路状況調査結果 ……7p
- 埋蔵文化財センター 出前授業 ……7p
- 平成31年度県立学校募集定員 ……8p
- ストレスチェックについて ……9p
- インフォメーション ……9p
- 総合教育センターNOW ……10~11p
- 学校レポート
「豊かな心をもち、自ら学ぶ子どもの育成
—地域との関わりを通して—」
入善町立飯野小学校 ……12p
- リレーエッセイ「夢をもつ」
富山県高等学校教育研究会長 富山県立富山中部高等学校長
福島 英晴 ……12p

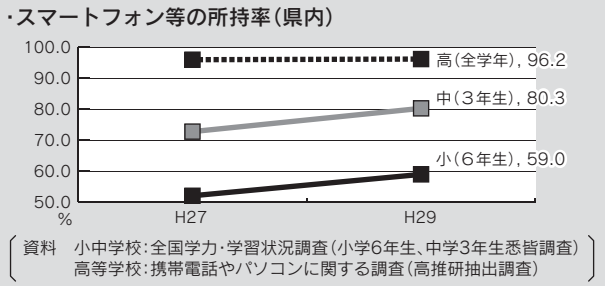
特集

Stop! ザ・ネットトラブル

~その7~

知っていますか？小学生のスマホの実態 ~進むネット利用の低年齢化~

スマホ等の所持率の現状



県内のスマホの所持率は、小中学校で毎年5%弱ずつ増加傾向にあります。平成29年度青少年のインターネット利用環境実態調査(内閣府)によると、インターネットの利用内容は、小学生ではゲーム(77.9%)、動画視聴(63.6%)が上位を占めています。スマホ利用でも同様の傾向が見られます。また、平成28年社会生活基本調査によると、県内では10~14歳の女子のスマホ・パソコン等の使用割合が高い(65.2%)ことが分かっています。(全国58.4%)

最近の子どもはテレビを見ない

最近、スマホの所持率は、小学校5年生から6年生にかけて高くなる傾向です。その年代の子どもがスマホをほしが理由の一つは、YouTubeで動画を見るためです。男子では、「ユーチューバー番組」や「ゲーム実況」、女子では同じく「ユーチューバー番組」や「スクイーズの作り方※」などの視聴が多くなっています。中には、自分がゲームをしている実際の画面を映して実況中継をする子どももいます。子どものスマホの使用時間が増える一方で、テレビやDVDの視聴時間が少なくなっています。子どもの興味・関心が、テレビからスマホへ移行しているようです。

小学生は、スマホでゲームをしたり動画を見たりするだけと思いがちですが、スマホはコミュニケーションツールの機能を持つことを理解し、トラブル等に巻き込まれないように注意しなければなりません。

※スクイーズ 発泡ウレタンでできた、見た目が本物そっくりにつくられている、触るとふわふわなおもちゃ。定番のパンが人気。

知っておこう 小学生に人気のYouTuber

HIKAKIN

国内チャンネル総登録者数NO1、名実ともに日本トップのYouTuber。日常の出来事を独自の視点でおもしろおかしく紹介するHikakinTVチャンネルや、ゲーム実況ジャンルで日本最大級のチャンネルとなっている。

はじめしゃちょー(砺波市出身)

「自由」をモットーにしている超フリーダムなYouTuber。実験系をメインにオールジャンルでなんでもしたいことを動画にしている。体を張ったネタや、だれもしないような斬新で手の込んだ動画をつくっている。

SEIKIN

SeikinTV、SeikinGamesを運営するYouTuber。歌、面白商品の紹介、様々なことに挑戦する「やってみた」、ゲーム実況などジャンルにとらわれない幅広い内容の動画で人気を集めている。

ユーチューバーは、自分たちではできないことを代わりに実行して、願望を叶えてくれる。人気ユーチューバーの年収は数億円と言われており、小学生のなりたい職業の上位にランキングしている。

解説 YouTube 利用者が投稿(アップロード)した動画を他者が視聴して楽しむ無料の動画共有サービスの人気サイト。
YouTube インターネット上の動画共有サービスであるYouTubeに動画を投稿し、広告収入を得る人たちのこと。

今年度、県では、中・高校生に加え、小学生にも適切なネット利用を啓発するため、「学校ネットルールづくり」などの取組や、啓発活動を実施し、児童生徒のネットトラブル未然防止のための体制の構築を図ります。

とやまネットルールづくり事業 児童・生徒自らが問題点を考えネットのルールをつくるネットトラブル防止対策

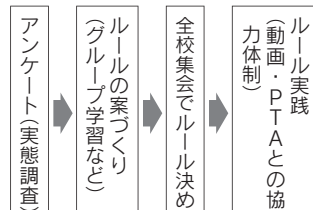
H29取組 学校ネットルールづくり(全県立学校、5市町村の中学校)

H30取組 小学生の学校ネットルールづくりワークショップ

- ・小学校での「学校ネットルールづくり」の取組を実施
- ・大学教員等を派遣し、「学校ネットルール」の案づくりのワークショップを実施
(魚津、富山、高岡、砺波地区の小学校4校で実施)



ワークショップ例



平成30年度「高校生とやま県議会」開会

高校生の主体的な政治参加意識や地域社会へ参画する意識の向上を図ることを目的に今年度も「高校生とやま県議会」を実施します。8月6日の開会式では、県内の高校2年生40名が「高校生議員」に任命され、NPO法人Youth Create代表の原田謙介氏による講演「高校生が地域を作る～若者の力が活きる社会へ～」を聞きました。午後の委員会活動では5つの委員会に分かれ、12月の本会議で高校生の視点から「元気とやまの創造」について提案する準備を始めました。



講演の様子



委員会活動の様子

第1回 とやま親学び推進協議会を開催

家庭の教育力の向上を目指した「親を学び伝える学習プログラム」を活用した「親学び講座」は、小・中学校を中心に、幼稚園・保育所等でも開催されるようになり、年間の参加者数が約3万5千人となっています。

5月21日(月)に開催した「とやま親学び推進協議会」では、県P連及び地区P連の代表者をはじめ関係機関が集まり、親学びの意義や、継続していくための体制づくり等について協議しました。



第1回とやま親学び推進協議会

とやま親学び「推進リーダー等研修会」及び「親学びスーパーリーダー等研修会」を開催

「親学び講座」は、「小中推進リーダー」「小中推進スーパーリーダー」「幼保推進リーダー」によって、普及・啓発活動が行われています。

6月9日(土)と24日(日)に県内4会場で「推進リーダー等研修会」、7月28日(土)と8月5日(日)に「親学びスーパーリーダー等研修会」を開催し、のべ141人が受講しました。「推進リーダー等研修会」では、「親学び講座」の演習と意見交換を通して、「親学びスーパーリーダー等研修会」では、大学教授による家庭教育に関する講義を通して、「親学び講座」を運営・進行する技術や、リーダーとしての資質の向上を図りました。

子どもたちの健全育成のきっかけをつかむためにも、多くの保護者の方々に「親学び講座」に参加していただきたいと思います。



推進リーダー等研修会



親学びスーパーリーダー等研修会

全国高校総体

「2018 彩る感動 東海総体」を終えて

富山県高等学校体育連盟 理事長 二瀬 寛之

「翔べ誰よりも高く東海の空へ」のスローガンのもと、平成30年度全国高校総体が、三重県、岐阜県、静岡県、愛知県の東海4県と和歌山県を会場に開催され、本県からは30競技に487名の選手が参加しました。

今年は、梅雨明けが早く、気象災害とも言われるほどの猛暑の中での大会となりましたが、本県選手はよく健闘し、12競技26種目でベスト8以上の好成績を収めました。個人では、陸上競技男子5000m競歩を柳橋和輝選手（龍谷富山）が制し、団体ではホッケー女子（石動）が3年ぶり5回目の優勝を果たしました。

また、前評判の高かったハンドボール男子（氷見）も実力を発揮し、3月の選抜大会に続き優勝し、二冠を達成しました。この秋の国体優勝を目指し、三冠達成に向けて弾みをつける大会となりました。高校生諸君には、全国総体での経験を糧に、今後さらに飛躍することを期待いたします。



開会式富山県選手団入場行進



現地激励会

平成30年度 全国中学校体育大会

「全国大会で活躍した富山県の中学生」

富山県中学校体育連盟 理事長 二山 雄斗

「重ねた努力 流した汗 光り輝け 中国の地で」のスローガンのもと、平成30年度全国中学校体育大会が中国ブロックで開催されました。本県からは、11競技に167名の選手が参加しました。大会では、陸上競技女子800mの柳樂あずみ選手（堀川）が北信越中学新記録で2位、水泳競技女子400mメドレーリレーの富山市立東部中学校が3位をはじめ、2競技11種目において入賞を果たしました。

また、中学生の全国大会では、全日本中学選手権競漕大会に参加した大沢野中学校と楡原中学校が複数種目で優勝に輝くなど、多くの選手が全国の舞台上で活躍しました。来年度は、近畿ブロックで全国中学校体育大会が開催されます。本連盟ではさらなる選手の育成と強化を進めてまいりたいと思います。



陸上競技女子800m2位
堀川中学校 柳樂あずみ選手



水泳競技女子400mメドレーリレー3位
富山市立東部中学校

第25回 環日本海インターハイ親善交流大会

8月6日（月）～8月11日（土）の6日間、富山県と環日本海諸国（ロシア沿海地方、韓国江原道、中国遼寧省）との高校生スポーツ交流「第25回環日本海インターハイ親善交流大会」がロシアウラジオストク市で開催されました。バスケットボール競技（男子）と柔道競技（女子）を通して、競技力の向上を図るとともに、各地域の相互理解と友情を深めました。



第75回 国民体育大会冬季大会スキー競技会富山県実行委員会設立総会

2020年2月に開催される第75回国民体育大会冬季大会スキー競技会富山県実行委員会設立総会が、7月13日、富山県民会館で開かれました。スキー国体の県内開催は2000年とやま国体以来20年ぶり3度目となります。

総会に併せ、公募した大会テーマ等の最優秀賞受賞者の表彰式も行われました。

●日程・会場 <◎：開始式、表彰式 ○：競技日 ◇：公式練習日 ◆：予備ラウンド>

	式典・競技	2月				会場	
		16日	17日	18日	19日		
		日	月	火	水		
南砺市	開始式	◎				南砺市福野体育館	
	表彰式				◎	じょうはな座	
	ジャイアントスラローム		○	○	○	たいらスキー場	
	クロスカントリー		○	○	○	たいらクロスカントリーコース	
富山市	スペシャルジャンプ	◇	○			県スキージャンプ場	
	コンパニオン		◇◆	○			
	ジャンプ クロスカントリー			○		あわすの平クロスカントリーコース	



表彰式（滑川高校1年 江尻一勢さん）

●大会テーマ・スローガン・マスコット

	作品名等	備考（最優秀受賞者等）
テーマ	とやま・なんと国体 2020 <small>ニ-ゼロニ-ゼロ</small>	江尻 一勢さん（富山市、滑川高校1年） 塚田 直子さん（東京都、会社員）
スローガン	白銀の 世界をかける 風になれ	堀 卓さん（福島県、自営業）
マスコット	元気とやまマスコット きとぎと君	今後、スキー競技デザインを作成

第35回「とやま賞」贈呈式

第35回「とやま賞」贈呈式が6月5日（火）富山国際会議場で行われ、学術研究等で顕著な業績を挙げた研究者等を称え、石井隆一富山県ひとづくり財団理事長が賞状と奨励金の目録を贈呈しました。引き続き受賞者による記念講演が行われ、研究の内容や苦勞したことなどを分かりやすくお話いただき、会場の高校生からの質問にも答えていただきました。

「とやま賞」は、学術研究、科学技術、文化・芸術、スポーツの分野において顕著な業績を挙げ、かつ、将来の活躍が期待される個人または団体に贈られ、今回で35回を数えます。詳しくは財団ホームページをご覧ください。http://www.t-hito.or.jp/zaidan/toyamashou/



第35回「とやま賞」受賞者（敬称略）

学術研究部門（医 薬） 片岡 雅晴（慶應義塾大学） （理 工） 山村 正樹（富山県立大学）
（人文社会） 坪見 博之（富山大学） （人文社会） 野澤 充（九州大学）
文化・芸術部門 森 雅史（東京二期会オペラ歌手、名古屋音楽大学）

平成30年度 永年勤続教職員等表彰式

平成30年度永年勤続教職員等表彰式が、7月2日県庁で行われました。県全体では、勤続30年が303名、勤続20年が120名、合計423名が表彰を受け、その代表者が教育長から表彰状を授与されました。

渋谷教育長は式辞で、「今日、教育県富山として高い評価をいただいているのも、ひとえに皆様方の永年にわたる努力と熱意の賜物と、心から感謝します。また、皆様のご活躍を陰で支えてこられたご家族の方々に対しても、敬意を表します。本県の未来を担う子どもたちが健やかにたくましく成長していくためには、教育現場の第一線で活躍されている皆様方が、豊富な知識と経験を活かしつつ、広い視野と見識をもって、その能力を十分に発揮され、日々の業務に積極的に取り組まれることが何よりも重要です。」と謝意を表しました。

これに対して、富山商業高等学校の仲井章校長が、代表して謝辞を述べられました。



～みんなで食育の推進を～

学校における食育を推進し、「元気とやまっ子」の育成を目指しましょう！

「毎日しっかり朝ごはん」運動

朝から元気に活動する児童生徒の育成を目指し、平成19年度より「毎日しっかり朝ごはん」運動を実施しています。

朝食の役割や朝食摂取の食習慣の大切さを啓発するため、毎年、県内全小・中・高・特別支援学校に「食育カレンダー」を配付しています。また、2学期からの指導に活用できるように、8月中に県内の全小学1年生に食育教材「食育ランチマット」を配付しています。

「とやまゲンキッズ作戦（健康づくりノート）」の調査項目から得られる朝食欠食率に関しては、本県は2%以下の低い値を維持しており（全国平均：4.6%《H29小学6年生：文部科学省発表》）、継続した取組の成果が現れています。また、「朝食内容」の栄養バランスは、全小・中学生のうち、51.7%が「黄（炭水化物）・赤（タンパク質）・緑（野菜・果物）」、43.1%が「黄・赤」または「黄・緑」の朝食を摂取しており、計94.8%が体温上昇を促す炭水化物とおかずの組合せであることが分かりました。

今後とも、児童生徒が栄養バランスのよい朝食摂取を心がけ、朝から元気に活動できるように、引き続き指導をお願いします。



平成30年度配付食育ランチマット

＜朝食欠食率（第3期「富山県食育推進計画」の目標指標）＞

	概ね5年前(H23)	現状(H29)	目標
● 朝食を欠食する子どもの割合（小学校5年生）	0.8%	→ 0.8%	→ 限りなくゼロに
（中学校2年生）	1.7%	→ 1.9%	→ 近づける

栄養教諭等と連携し、 学校教育活動全体を通して食育の推進を

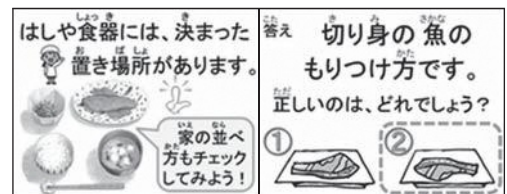
食に関する指導の目標には、「食の重要性、心身の健康、食品を選択する能力、感謝の心、社会性、食文化への理解」があります。この達成に向け、各学校では、栄養教諭等と連携して作成した「食に関する指導の全体計画」を基に、学校給食を生きた教材として活用し、学校教育活動全体を通して、食に関する指導に取り組まれています。

毎年作成し、県内の全小・中・特別支援学校、県立の給食実施高等学校に配付している「食に関する指導実践事例集」（学校給食指導者作成）には、学級担任と栄養教諭等が連携した実践事例を数多く掲載しています。ぜひご活用ください。

今後も、本事例集や文部科学省発行の食育教材「たのしい食事つながる食育」、県農林水産部発行の副読本「みんなで学ぼう！富山の食と農」を学級活動等の学習で活用し、日常生活における継続的な実践が図られるように、児童生徒への指導をお願いします。



栄養教諭の指導風景



食に関する指導実践事例集より
「ちよこっと食育」の資料

平成30年度 全国学力・学習状況調査結果より

本年4月に実施された全国学力・学習状況調査について、7月に文部科学省より結果が公表されました。教科区分別平均正答率をみると、本県は、小・中学校とも全ての教科区分において全国の平均正答率を上回っており、3年ぶりに実施された理科では、小・中学校ともに全国平均を4ポイント上回るなど、一定の学力水準が保たれています。

これは、児童生徒一人一人の日頃の努力が成果となって現れた結果であり、児童生徒に応じたきめ細かな指導に取り組んでこられた市町村教育委員会や各学校の教職員の努力、学校教育を支えていただいている保護者や地域の方々の理解と協力によるものと考えています。

授業改善や学習習慣、生活習慣の定着等の学力向上策は、継続して取り組むことが大切であり、今後とも市町村教育委員会と連携しながら、各学校の取組を支援してまいります。

	小学校6年					中学校3年				
	国語A	国語B	算数A	算数B	理科	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
本県平均正答率	74%	58%	66%	55%	64%	78%	63%	70%	51%	70%
全国平均正答率	71%	55%	64%	52%	60%	76%	61%	66%	47%	66%
H30(全国との差)	(+3)	(+3)	(+2)	(+3)	(+4)	(+2)	(+2)	(+4)	(+4)	(+4)
H29(全国との差)	(+3)	(+2)	(+3)	(+1)		(+3)	(+3)	(+3)	(+2)	

※ A：主として「知識」に関する問題、B：主として「活用」に関する問題

中学校・高等学校卒業者の進路状況調査結果 — 平成30年5月1日現在 —

1 中学校

平成30年3月に県内の中学校（国立1校、公立79校1分校、私立1校）を卒業した生徒は9,656人（男子4,973人、女子4,683人）で、前年より455人減少しました。〈表1〉高等学校等進学率については、99.4%（前年99.3%）で、全国第4位（前年第5位）となっています。〈表1・表2〉就職率は0.2%（前年同率）でした。〈表1〉

〈表1〉 中学校卒業者の進路状況

各年3月	実数（人）						割合（%）		
	a 卒業者	b 高等学校等 進学者	c 専修 学校等 進学・ 入学者	d 就職者	e その他	f (再掲) b,cの うち 就職者	b/a 高等 学校等 進学率	c/a 専修 学校等 進学・ 入学率	(d+f)/a 就職率
26	10,063	9,968	4	29	62	3	99.1	0.0	0.3
27	10,189	10,101	4	19	65	1	99.1	0.0	0.2
28	10,095	9,995	5	24	71	3	99.0	0.0	0.3
29	10,111	10,038	3	15	55	2	99.3	0.0	0.2
30	9,656	9,594	0	12	50	4	99.4	0.0	0.2

2 高等学校

平成30年3月に県内の高等学校（公立41校2分校、私立10校）を卒業した生徒は9,195人（男子4,558人、女子4,637人）で、前年度より80人増加しました。〈表3〉大学等進学率は51.9%（前年52.2%）で、全国第22位（前年第20位）となっています。〈表3・表4〉就職率は21.9%（前年22.3%）でした。〈表3〉なお、県内就職割合は94.1%（前年91.8%）で全国第2位（前年第6位）となっています。卒業者に占める進学者と就職者の合計の割合は98.5%（前年同率）となっています。〈表3〉

〈表2〉 高等学校等進学者の進路先状況

区分	進学者 総数	高等学校			高等専 門学校	特別支 援学校 高等部
		全日制	定時制	通信制		
実数(人)	9,594	8,946	262	62	254	70
割合(%)	99.4 (99.3)	92.6 (92.7)	2.7 (2.6)	0.6 (0.4)	2.6 (2.6)	0.7 (0.9)

(注) ()内は、前年度調査結果の数値である。

〈表3〉 高等学校卒業者の進路状況

各年3月	実数（人）										割合（%）			
	a 卒業者	b 大学等 進学者	c 専修 学校等 進学・ 入学者	d 就職者		左記以外 の者		f (再掲) b,cの うち 就職者	b/a 大学等 進学率	c/a 専修 学校等 進学・ 入学率	(d+f)/a 就職率	(b+c+d)/a 進学と 就職の 割合		
				e 正規 就職者	e 非正規 就職者	e 無認可 の予備校・ 私塾等	e その他						e 正規 就職者	e 非正規 就職者
26	9,106	4,712	2,220	—	—	—	167	—	—	51.7	24.4	22.2	98.2	
27	9,365	4,870	2,288	2,007	2	—	144	18	0	52.0	24.4	22.2	98.5	
28	9,161	4,762	2,156	2,063	7	—	160	8	1	52.0	23.5	22.8	98.3	
29	9,115	4,760	2,190	2,083	3	—	138	7	0	52.2	24.0	22.3	98.5	
30	9,195	4,770	2,038	2,024	14	235	138	3	0	51.9	22.2	21.9	98.5	

(注) ・「その他」には、一時的就業者（アルバイト等）を含む。
・表中「d」「f」内の「正規」は正規の職員等で、「非正規」は正規の職員等でない者。
・なお、「正規」「非正規」の区分は、H27より学校基本調査項目に追加された。
・無認可の予備校・私塾等に進学した者は、H29まで「専修学校等進学・入学者」に含めて計上していたが、H30に変更となった学校基本調査に合わせて「左記以外の者」に計上している。

〈表4〉 大学等進学者の学校種別・設置者別進学状況

区分	大学等 進学者 総数	大 学			短期大学			そ の 他		
		計	国立	公立	私立	計	国立		公立	私立
実数(人)	4,770	4,078	1,172	407	2,499	622	0	24	598	70
割合(%)	51.9 (52.2)	44.4 (44.4)	12.7 (13.8)	4.4 (3.9)	27.2 (26.6)	6.8 (7.1)	0.0 (0.0)	0.3 (0.3)	6.5 (6.7)	0.8 (0.7)

(注) 「その他」は、大学・短期大学通信教育部、高等学校専攻科及び特別支援学校高等部専攻科等である。()内は、前年度調査結果の数値である。



埋蔵文化財センター 出前授業

埋蔵文化財センターでは、小・中学生、高校生などを対象に、出前授業を実施しています。授業では、県内の遺跡から出土した本物の縄文土器や弥生土器などにふれることができるほか、火起こし体験や、まが玉づくりなどの考古体験をとおして古代の人々の技や暮らしを学びます。

出前授業は随時受け付けており、考古学の専門職員と社会教育主事が学校の学習のねらいや要望に合わせた授業を行います。ぜひ、社会科や歴史、総合的な学習の時間にご利用ください。



出土品にふれる小学生

平成31年度県立学校募集定員

- ◆ 全日制6,781人、定時制約960人、通信制約300人、専攻科約160人を募集します。
- ◆ 特別支援学校の高等部及び高等部専攻科の募集人員は、約280人に訪問教育の若干名を加えたもの、並びに幼稚部は若干名とします。
 - 平成31年3月の中学校卒業予定者数は、平成30年3月に比べ107人減の9,552人の見込みであり、全日制課程の募集定員は、平成30年度に比べ43人減の6,781人とします。
 - 定時制課程の募集定員は、平成30年度と同様とします。
 - 通信制課程の募集定員は、平成30年度と同様とします。
 - 専攻科の募集定員は、平成30年度と同様とします。
 - 特別支援学校高等部及び高等部専攻科、幼稚部の募集人員は、平成30年度と同様とします。

	募集定員	前年度比	備考
全日制課程	6,781人	-43人	
定時制課程	約960人	—	
通信制課程	約300人	—	
専攻科	約160人	—	
特別支援学校 高等部及び高等部専攻科	約280人	—	訪問教育若干名を加える
特別支援学校 幼稚部	若干名	—	

平成31年度 富山県立高等学校全日制課程第1学年募集定員

学校名	学科名	募集定員		備考
		学級	定員	
泊	普通	3	120	観光ビジネスコース
入善	普通	3	120	自然科学コース
	農業	1	30	
桜井	普通	3	120	帰国生徒5
	土木	1	40	
魚津	生活環境	1	40	
	普通	4	160	
魚津工業	機械	2	80	電子機械コース 化学工業コース
	電気	1	40	
	情報環境	1	40	
滑川	普通	2	80	
	商業	1	40	
	商業	1	40	
上市	海洋	1	40	
	総合	4	160	
雄山	普通	3	120	
	生活文化	1	40	
中央農業	生物生産	3	90	作物科学コース 動物科学コース 園芸福祉コース 環境緑化コース 生物工学コース 食品加工コース
	園芸デザイン			
	バイオ技術			
八尾	普通	4	160	福祉コース
富山西	普通	4	160	
富山	普通	5	200	探究科学科
	理数科学 人文社会科学	2	80	
富山中部	普通	5	200	探究科学科
	理数科学 人文社会科学	2	80	
富山北部	普通	3	120	
	くすり・バイオ	1	40	
	情報デザイン	1	40	
富山工業	機械工学	2	80	
	電子機械工学	1	40	
	金属工学	1	40	
	電気工学	2	80	
	建築工学	1	40	
	土木工学	1	40	
富山商業	流通経済	2	80	
	国際経済	1	40	
	会計	2	80	
	情報処理	2	80	
富山いずみ	総合 看護	4 1	160 40	
富山東	普通	6	240	自然科学コース約40
富山南	普通	5	200	国際コース
水橋	普通	3	120	体育コース約40
呉羽	普通	6	230	音楽コース約30

学校名	学科名	募集定員		備考
		学級	定員	
小杉	総合	3	120	
大門	普通	3	120	
新湊	普通	3	120	
	商業	1	40	
高岡	普通	5	200	探究科学科
	理数科学 人文社会科学	2	80	
高岡西	普通	3	120	人間福祉コース
高岡工芸	機械	1	40	土木工学コース 環境化学コース
	電子機械	1	40	
	電気	1	40	
	建築	1	40	
	土木環境	1	40	
高岡商業	工芸 デザイン・絵画	1	30	
	デザイン	1	40	
	流通経済	2	80	
伏木	国際経済	1	40	中国語コース 韓国語コース ロシア語コース
	国際経済	1	40	
	会計	1	40	
高岡南	情報処理	1	40	人文科学コース
	普通	4	160	
福岡	普通	3	120	英語コース
氷見	普通	3	120	
	農業科学	1	40	
	海洋科学	1	40	
	ビジネス	1	40	
砺波	生活福祉	1	40	
	普通	4	160	
砺波工業	普通	4	160	
	機械	2	80	
	電気	1	40	
南砺福野	電子	1	40	
	普通	3	120	
南砺平	農業環境	1	30	
	福祉	1	30	
南砺福光	普通	1	31	
石動	普通	2	80	
	国際	1	30	
合計	普通	3	120	
	商業	1	40	
合計		172	6,781	

※ 備考欄の「〇〇コース約△△」及び桜井高校普通科の「帰国生徒5」は、定員の内数である。
また、コース名のみは、2年次に開設するものである。

※ 詳しくは、県立学校課のHPをご覧ください。(http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/3003/index.html)

ストレスチェックについて

— 教職員のメンタルヘルス —



自分自身で心の健康状態をチェックすることはストレスへの気づきを促し、健康管理や精神疾患の未然防止にも役立ちます。ご自身の健康は、まずはご自身で守りましょう。県教育委員会では、本年度もストレスチェックを実施しております。

心のセルフチェックシステムのご案内

公立学校共済組合では、教職員の方がインターネットを使っていつでも利用できる心のセルフチェックシステムの運用をしております。初回のみ最新号の「共済フォーラム」に記載されておりますユーザー名・パスワードでログインしてください。 <https://kokoronokenkou.jp/Stress/LoginPortal.aspx>

また、その他、県教育委員会と公立学校共済組合富山支部では、「教職員・心の健康管理医」として専門医を委嘱し、無料の個別相談を実施しています。お気軽にご相談ください。

個別相談等の詳しいお問合せは、公立学校共済組合富山支部健康管理係まで TEL : 076 - 432 - 7176

インフォメーション

場所 内容 対象 募集人数 応募要領
募集締切 参加料 ホームページ 問い合わせ

入館無料 富山県埋蔵文化財センター 電話076-434-2814

特別展「旧石器時代とはどのような時代だったのか！」

期日 10月5日(金)～平成31年3月21日(木)

本展示では、県内から出土した旧石器を公開するほか、旧石器人はどのような暮らしをしていたのか、周辺の自然や動植物などの環境はどうであったかなど、今わかっている考古学の研究成果を通して紹介します。

無料

立美遺跡出土品 (南砺市立野新)

開催案内 富山県高等学校文化連盟 (県立高岡高校内) 電話0766-29-2530

第30回 富山県高等学校文化祭

期日 10月26日(金)～28日(日)

富山県民会館 無料(見学自由)

県内の高校生が、日頃の文化活動の成果を発表する文化祭で、今年は30回目。10/27(土)午前10時から郷土芸能部によるオープニングをはじめ、高校生の若々しい感性と才能をご覧いただく絶好の機会です。ぜひ、ご来場ください。

H29年度ステージI 吟詠刺詩舞の発表

申込不要 入場無料 富山県生涯学習カレッジ本部 電話076-441-8401

第30回 県民カレッジ学遊祭

期日 10月7日(日) 9:00～16:30

富山県教育文化会館

県民カレッジ講座の受講者、生涯学習団体および一般県民が一堂に集い、学習成果の発表や展示、交流を行う。映像上映会、特別講座、ステージ発表、展示、実演、お茶席など。

富山県生涯学習カレッジ本部 076-441-8401

<http://www4.tkc.pref.toyama.jp/toyama/>

平成29年度 開催風景

入場無料 (参加自由) 富山県生涯学習カレッジ新川地区センター 電話0765-22-4001

第18回 新川キャンパスフェスティバル

期日 10月27日(土) 9:00～15:30

社会人受講者と新川みどり野高校の生徒が、学習の成果を展示・発表します。ステージイベントは、ジャックリーランド氏による影絵です。お気軽にご来場ください。

平成29年度 開催風景

開催案内 富山県民歩こう運動推進委員会事務局 電話076-444-3461・FAX 076-444-4439

元気とやまウォークラリーin魚津

～競歩 北京五輪代表 山崎 勇喜さんと歩こう～

期日 10月8日(月・祝) 9:30(受付9:00)

魚津市ありそドーム

約3.5kmと5kmのウォーキング

9月28日(金)までにお電話やFAX等でお申し込みください。

※参加賞として富山県産野菜を配付(数に限りあり)

昨年の様子

入場無料 (参加自由) 富山県生涯学習カレッジ富山地区センター 電話076-441-0301

平成30年度 県民カレッジ富山地区センター学遊祭

期日 11月3日(土・祝) 9:40～14:00

県民カレッジ富山地区センター「学遊祭」と雄峰高校「学園祭」を同時に開催。生涯学習団体、自遊塾、共学講座等の作品展示やステージ発表を予定。人生を豊かにする「学びの種」を探しに来ませんか。

平成29年度 開催風景

受講者募集 富山県映像センター 電話076-441-8455

学んで活かそう！著作権 ～それ、違法です～

期日 10月13日(土) 13:00～16:30

富山県教育文化会館 5階

講師 JASRAC 大陸支部長 赤塩康幸氏

著作権制度の基礎知識
音楽や映像などの著作物の使い方等

無料 10月12日(金) (定員になり次第締め切ります)

<http://www4.tkc.pref.toyama.jp/toyama/>

平成29年度 開催風景

入場無料 富山県民謡民舞連盟 (生涯学習・文化財室) 電話076-444-3456

第67回富山県民謡民舞大会「ふるさと民謡民舞まつり」

期日 11月10日(土) 13:00開演

県内に伝承されている民謡民舞が一堂に会し、日頃の練習成果を発表します。

アイザック小杉文化ホール ラポール

開演：13:00 (開場：12:00) 無料

過去の大会より

入場無料 (参加自由) 富山県生涯学習カレッジ高岡地区センター 電話0766-22-5787

平成30年度 ウイング・ウイング祭

期日 10月19日(金)～20日(土)

県民カレッジ高岡地区センター「学遊祭」と志貴野高校「文化祭」の開催。落語家立川笑二による記念公演(20日、無料、先着順)や、生涯学習団体、自遊塾による作品展示、名作映画上映会、ミニ講座などを予定。

記念公演 落語家 立川笑二

入場無料 (参加自由) 富山県生涯学習カレッジ砺波地区センター 電話0766-61-2020

第18回 となみキャンパスフェスティバル

期日 11月10日(土) 9:00～15:30

となみ野高校の生徒と社会人受講者が、日ごろの学習成果を発表します。(ステージ発表、作品展示、パネルによる活動紹介、模擬店など) ぜひ、ご来場ください。

平成29年度 開催風景

総合教育センター NOW

教育相談部

特別支援教育の視点を取り入れた授業づくり講座

～どの子ども「わかる・できる」授業を目指して～

小学校、中学校、高等学校には、いろいろな個性の子どもたちがいます。特別な支援が必要な子どもだけでなく、どの子どもにも安心して学習・活動できる学級集団づくりが大切だといわれています。言い換えると、「特別な支援を要する子どもたちの支援を考えることは、どの子どもにも便利な+αとして作用し、よりよい授業、よりよい学級経営につながる」ということになります。その研修内容について紹介します。

【第1回】

◆日時 6月13日(水) 13:30～16:30 (講義)

◆講師 植草学園短期大学前教授 漆澤 恭子 先生

◆演題 「特別支援教育の視点を取り入れた授業づくり」

～どの子ども「わかる・できる」授業を目指して～

◆講義の要点

○安心して学習・活動できる学級集団づくりのポイント

- ・やり方、考え方、分かり方の程度等が違って、活躍できる場、認められる場、自分を理解してもらえる場、折り合いをつけて接してもらえる場を設定する
- ・自分と友達の違いに気付き、多様な価値観を認め合う雰囲気をつくる

○分かりやすく行動しやすい環境づくりのポイント

- ・教室や校内の学習環境を整える
例 物の定位置を決める
- ・言語環境を整える
例 相手を尊重・肯定する言葉遣いをする
- ・行動しやすい環境を整える
例 活動の順番を視覚的に示す

◆受講者の声

- 当たり前のことができて、頑張っている子をほめるように心掛けていたつもりでしたが、できないことを責めることが多くなっていた自分に気付かされました。自分の指導を見直すことができました。
- 具体例が内容、数ともに豊富で大変参考になり、自分の指導に取り入れたいと思いました。
- クラスにいる生徒の姿をイメージしながら聴くことができました。一人一人の生徒をもっとよく観察する必要があると感じました。
- 特別な支援に対して「何であの子だけ…」と周囲の児童に思われることに悩んでいました。しかし、「困ったときは誰でも助けるよ」とクラスに言ったり、支援をしている時間を、周囲の児童にとって、一人で苦手を克服する時間や得意を伸ばす時間と捉えたりしたらよいなど、新たな視点をたくさんもつことができました。



漆澤先生の講義の様子



机の中の整理の仕方

【第2回】 8月7日(火) 13:30～16:30 (実践報告・協議)

○実践報告では、「特別支援教育の視点を取り入れた授業実践」と題して、2つの報告がありました。ユニバーサルデザインの授業づくりとして、児童生徒の実態に応じた視覚的支援の方法や、今までの板書の掲示をして活動を想起する工夫等、具体的な実践例を多く学ぶことができました。別協議では、1回目の研修を基に、受講者それぞれが使用した教材を持ち寄り、実践を発表しました。少人数でじっくりと情報交換することができました。

教育研修部

中堅教諭等資質向上研修について

本研修は、教育公務員特例法の一部改正により、11年次教職員研修を見直し、今年度から実施するものです。学校の中核的な役割を果たす中堅教員としての資質の向上を図る研修を行い、学習指導、生徒指導等における実践的指導力や中堅教員としての使命感を高めることを趣旨としています。

研修内容としては、従来の11年次教職員研修の内容を基にしつつ、ミドルリーダー育成のために特色ある研修が2つ盛り込まれました。昨年度から導入された「年次交流研修」と今年度から実施される「組織マネジメント研修」です。新たに導入された「組織マネジメント研修」は、学校組織マネジメントの手法を学ぶことを通してミドルリーダーとしての素養を養うことを目的としています。

実施方法についても、受講者の負担軽減等の視点から見直しが図られました。従来の11年次教職員研修では1年間で実施していた研修を10年次、11年次の2年間に分けて実施することになりました。さらに、選択研修については7年次から11年次の5年間の中で、自己課題に基づき受講することになりました。また、11年目までに受講した免許状更新講習を最大3日まで選択研修として認めることとしました。

開講式では、教職経験10年目の節目の年に新たな研修を受講することになった受講者の真剣な態度が印象に残りました。受講者からは、「中堅教員として広い視野をもち学校全体の動きを見通し、他の先生方と連携を図りながら職務に当たることの大切さを学んだ」などの声が聞かれました。



科学情報部

「教育資料室」をご利用ください！

富山県総合教育センターには、「教育資料室」があり、教育関係に特化した専門書や雑誌・資料を所蔵しています。具体的には、教育研究のための専門書、教育関係雑誌等をはじめ、県内各学校の実践報告書、各県の教育センターや大学からの紀要、各種教育団体の研究資料や実践報告書等をそろえています。平成30年7月現在で、9万3千冊あまりの書籍・文献を有します。

授業の実践報告書や学習指導案等もたくさん保管しており、教材研究、授業づくりの参考にできます。また、発達障害等の児童・生徒を支援するための書籍・文献もそろっており、最新の教育事情が分かります。

富山県総合教育センターのホームページで、「教育資料」をクリックすると、「教育資料データベース」の検索ができます。14万2千件あまりの書籍や文献の目録が登録されています。閲覧や貸し出しも行っていますので、是非ご利用ください。(利用時間は原則として平日の8時30分～17時)



<http://siryo.el.tym.ed.jp/>



学校におじゃまして取材し、みなさんに各校の取組の様子をお届けします。

学校レポート

豊かな心もち、自ら学ぶ子どもの育成 — 地域との関わりを通して —

入善町立飯野小学校

入善町立飯野小学校は、明治6年（1873年）に創立された145年の歴史と伝統をもつ学校です。地域住民からの学校教育への期待は大きく、また学校への支援も手厚いと伺いました。そのような環境で、当校は地域の人・物・事から学ぶ学校として、子どもたちが公民館や地区の行事に積極的に参加するなど、地域に根ざした学校づくりに努めています。

総合的な学習の時間では、飯野地区の文化、歴史、自然、産業などを取り上げ、自ら課題を見付け、主体的に問題解決に取り組むことのできる子どもを育成しています。3年生では、「飯野地区のじまんを見付けよう」というテーマに取り組んでおり、海岸近くの湧水地帯にある庄助川で、カワセミや鮭の遡上の観察を行うなど、地域の恵まれた自然環境に触れています。また、今年の6年生は、「飯野っ子ハートフルプロジェクト」という学校や地域を「やさしさいっぱいにしよう」という目標のプロジェクトに取り組みました。各プロジェクトチームを中心に、老人福祉施設での高齢者交流会や地域の清掃活動などの企画・運営を行います。昨年度は、清掃活動チームの児童自らが地域の方々にも参加を呼びかけ、地域の20名の方々と一緒に海岸の清掃を行ったそうです。



飯野っ子ハートフルプロジェクトの様子



夢花壇の様子

地域の公民館が学校に隣接しており、子どもたちは様々な公民館活動や敬老会への参加などを通して、多様な見方、考え方に触れる機会を得ています。近年、この公民館での学童保育に通う生徒が増えており、地域の方が多数ボランティアとして関わり、学習面も含め、子どもたちを支援しているそうです。

学校の正面には、創立140周年を記念し、校章をかたどって作られた「夢花壇」がありました。また、学校の「百年誌」も見せていただき、改めて、その長い歴史を実感するとともに、子どもたちを地域全体で育てているという学校と地域との結びつきの強さを感じる訪問となりました。

リレーエッセイ

「夢をもつ」

富山県高等学校教育研究会長 富山県立富山中部高等学校長 福島 英晴

私が新採の頃は教員が大量に採用され、現在のように経験の浅い教員がたくさんいました。バブル時代で大変景気がよく、郵便局の10年ものの金利が8%もあり、今の低金利を考えるととても信じられない時代でした。生徒や部活動等について、若い者同士や先輩とよく議論をしていたのを憶えています。その中で、先輩から「大きな夢でも小さな夢（目標）でもよいから夢をもって、その夢の実現のために、失敗を恐れず何事にも挑戦しなさい」とアドバイスを頂き、それ以来、常に夢をもって歩んできました。

さて、「不易流行」という言葉があります。「不易」とは、どんなに社会が変化しようとも、時代を超えて変えてはならないものであり、「流行」とは、時代の変化とともに変えていかなければならないものという意味です。教育においては、豊かな人間性や他人を思いやる心、国を愛する心などを子供たちに培うことは、どの時代においても大切にされなければいけません。その一方で、情報化やグローバル化といった社会的変化が、人間の予測を超えて進展する時代にも対応していかなければいけません。

私たち教員は不易流行の考え方を大事にし、自己肯定感を高め自らの手で未来を切り拓く子供を育てる教育の実現のために、夢をもって自らの資質能力を高めていくことが必要です。また、自分自身の意識を変えて休める時は積極的に休み、仕事にメリハリをつけることも大切だと思っています。



■執筆者プロフィール

上市町出身 富山東高校長、魚津高校長を経て平成29年4月より現職

（御意見・感想・学校が元気になるアイデア等お寄せ下さい。）

教育長への直通メールアドレス：ml-powerup@pref.toyama.lg.jp